

まちづくりの変化

街並みの変化

街並み

- ・整備によって利便性の高い施設（都市機能）や各種インフラ、オープンスペース（都市基盤）等が設けられ、また、雑然とした街並みが洗練されたことにより、**地域の魅力が向上**しています。

景観に配慮した街並みに



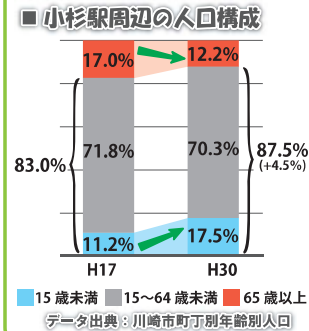
人口（住む人々）

- ・老年人口割合の減少、年少人口割合の増加から、特に子育て世帯に選ばれている様子がうかがわれます。

来街者（訪れる人々）

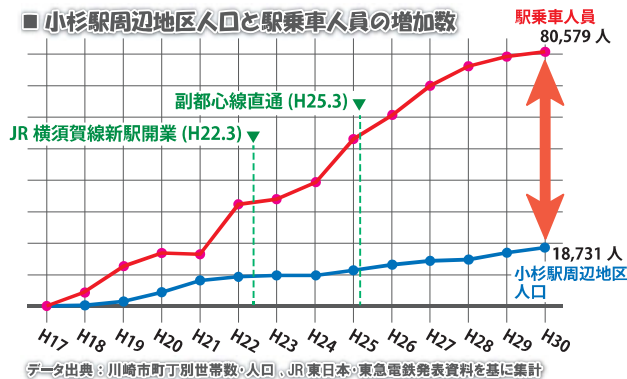
- ・小杉駅周辺地区を訪れる人々の数も大きく増加しています。

老年人口割合の減少、年少人口割合の増加



※以上の2つのグラフでは、小杉町2・3丁目、下沼部、新丸子東3丁目、及び中丸子における人口等を集計しています。

来街者数が増加



その他、まちの評価

- ・このほか、住みたいまちとしてランキング等で高く評価されたり、地区の価値を示す**地価が上昇**されるなど、小杉駅周辺地区は「**選ばれるまち**」として**認知**されています。

今後の主な取組

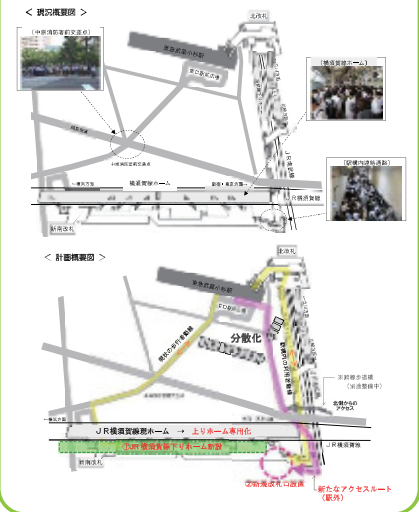
小杉駅周辺地区のまちづくりにおいては、地域全体のまちづくり構想に基づき、土地利用転換の機会を捉え、民間開発を計画的・段階的に誘導することで、本市の発展を支える魅力あふれるまちを形成してきました。**高齢化や自然災害の頻発・激甚化など社会環境の変化、まちづくりの進展に伴う新たな課題にも対応し、今後もより一層の安全・安心で魅力ある都市拠点の形成に向けて、拠点整備の推進に取り組んでいきます。**

以下に、今後推進していく主な取組を紹介します。

駅及び駅前広場の安全対策・混雑緩和

- ・小杉駅周辺地区の人口及び武蔵小杉駅の乗車人員数の増加により、**武蔵小杉駅（特にJR横須賀線）の安全対策・混雑緩和**が必要になっており、JR東日本と取組を進めています。
- ・平成30（2018）年4月には、**横須賀線の南南改札とエスカレーターの設置、南武線下りホームの拡幅**が実施されました。
- ・また、**横須賀線下りホーム新設（2面2線化）、南武線ホームドアの設置、新たな改札口の設置**による新たなアクセスルートの設置など、**利用者の安全性・利便性の向上**に向けた取組を推進しています。

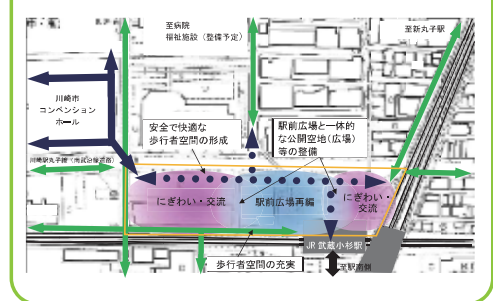
混雑の緩和へ



小杉駅北口駅前の取組

- ・小杉駅北側では、駅前でありながら老朽化した建物や**未利用な土地**がみられること、駅前広場では**歩行者の安全性**や**バリアフリー**などの課題がみられます。
- ・このため、広域拠点の駅前にふさわしい**土地の高度利用**を図るとともに、周辺の既存機能との相乗効果を踏まえた**都市機能の適切な配置**などの土地利用を推進し、**防災性の向上**や**魅力あるまちづくり**を目指します。
- ・また、民間開発とあわせて、**駅前広場を拡充し、快適なバス等の乗降空間の創出**を図るとともに、バリアフリーに対応した**安全で快適な歩行者動線の形成**と**駅北側の回遊性の向上**を図るための**歩行者ネットワークの強化**を目指します。

利便性・安全性の向上へ



地域課題解決、賑わいづくりへ



総合自治会館跡地等の有効活用

- ・川崎市総合自治会館の跡地については、**二ヶ領用水**や**国道409号**の存在を踏まえ、**緑豊かな居心地のいい空間**や、**多世代が集い交流する空間**とし、地域の課題解決や賑わいの創出・向上に貢献するよう活用していきます。